

「くも膜下出血術後患者の脳血管攣縮に対する離床継続の安全性」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター 臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016年4月1日から2024年3月31日までの間に当院でくも膜下出血に対して外科的治療を受けられた方を対象としています。

2. 研究の目的

術後に脳血管攣縮を生じた患者さんにおいて、離床の継続を実施しても合併症の悪化につながらないことを確認します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年11月30日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1ヶ月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療記録（年齢、性別、既往歴、喫煙歴、リハビリテーション経過等）、及び画像データを用います。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である海津 倭が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

脳動脈瘤性くも膜下出血と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 海津 伶（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

・埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはございません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 海津 伶

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4320（土日祝日を除く 8:30～17:30）

メールアドレス：rkaizu@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：くも膜下出血術後患者の脳血管攣縮に対する離床継続の安全性

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 海津 伶